

## 10月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和元年10月1日(火)

午後1時30分～

地域交流センター 第3会議室

出席委員 職務代理 市川祥介 委員 塚原明水  
委員 坂野かほり 委員 小山正文  
出席職員 麻績村長 高野忠房 麻績小学校長 福田弘彦 麻績保育園長 白井孝夫  
教育長 飯森 力 次長 白井太津男 主事 佐藤克哉  
傍 聴 者 3名

### 一 開会(白井教育次長)

只今から10月の麻績村教育委員会定例会を開会いたします。よろしくお願いいたします。  
それでは、始めに麻績村長よりあいさつをいたします。

**高野村長:** 改めまして皆さんこんにちは。今日は10月の定例教育委員会ということで大変お疲れ様でございます。本日はいくつか報告があるわけですが、まず飯森力氏であります。任期が9月末日までということでございましたが、10月1日本日から改めて再任ということで村の教育長をお願いしたわけでございます。どうぞよろしくお願いいたします。議会の同意もいただいた訳でございます。その時に一部反対者があった訳でございますが、明確な理由は理解しがたいという思いでいる訳であります。いずれにしても教育部門には多くの関心が寄せられているということであるかと思っております。そうした中で教育委員会として良いことをやっていく、必要なことをやっていくということも村民の皆様のご理解を得るような説明をこれからしっかりやらないといけない、そういうことも必要なのかなという思いもしています。先日の議会の中で議員の方から発議がございました。麻績村と筑北村の学校統合についていろいろご意見がある中で住民のアンケートをしなさいということになった訳でございますが、このことにつきましては私の思いを伝えさせていただきますが、麻績村と筑北村の学校統合は必要なんだということで長い間両村で検討を進めてきたわけですが、結果的にはそれが上手くいかなかった訳でございます。そうした中でこれは私の思いでございますが、アンケート調査をしなくても村民の皆様は学校統合については必要だと思っていると私は思っています。8割、9割ぐらいの人は適正規模でしっかりした教育をしていくべきだということは当たり前のことだと風に思っていますし、私は今更そんなアンケートを取る必要はないと思っております。また逆にアンケートの取り方によって今の状況の中で、独自にやればいいのかという結果が2割3割と出てくると難しい問題になってしまうのではないかと思いますし、あえて今の状況の中で麻績村と筑北村の学校統合について村民の思いをアンケートで調査するなんてことは私は今は必要ではないと思っております。そういった中で今の状況では筑北村さ

んは筑北村さんとして新しい教育環境の整備ということで大きな変革の中で進めている訳でございます、4月1日に向けて筑北村さんとしてはとても大変な時期であると伺っています。麻績村としても4月1日に向けて環境が変わる部分もあります。特に中学の組合立から麻績村立になるということもありますので、ずれにしましても4月1日に向けて子供たちの教育環境をしっかりと形に持って行っていただきたい、教育関係者一丸となって取り組んでいっていただきたいと思っています。このような状況下の中で先程の麻績村と筑北村の学校統合について早急に検討すべきだという意見もある訳でございますが、現時点では4月に向けて精力を振り向けていただくことが大事ではないかと思っておりますし、子どもたちに変な不安を与えないような教育環境をしっかりと整備していく、作り上げていくということが必要だと思っておりますので何卒よろしくお願ひしたいと思っております。また、国の策で新たに幼児教育等についての新しい方針が出されています。これは消費税と含めてでございますが、過日の9月定例会で一応条例については可決をいただいたんですが、実はその条例に不備があって後で厚労省のほうから連絡が来て厚労省の通知に誤りがあったということで急遽直さなければいけないということですが麻績村においては専決処分をして直してございます。それとは直接関係はない訳であります、国が保育料等についての支援をしていくということですが、麻績村は既に一步先行して進めている訳です。実は麻績村と同じように保育料の無償化や割引など進めているところがいくつかある訳でございますがそういった自治体においては次はどうするかという話の中で給食費の減免を始めていくというような自治体もある訳でございますが、今後麻績村としてはどうやっていくのが良いのかなということで給食費の無料化についてそこまでやるのという声もありますし、もっと他にやることあるんじゃないのという意見もあります。給食費の無料化というのは非常に分かりやすい訳でございますが、どんな施策を子どもたちのために何をしていったらいいのか教育委員会の方でもご検討いただければありがたいなと思っております。4月からの新しい中学につきましては麻績村立ということになりますから全てこの委員会で小学校と中学校等含めて進めていってもらい訳でございますが、具体的に村民の皆さんに分かりやすいような説明をしていかなければいけないなというところでございますが、その辺についてもよろしくお願ひしたいなと思っております。話が前後しますが先日小学校の運動会を楽しく見させていただきましたが、本当に先生型のご指導のおかげでよくあそこまで子どもたちが成長しているんだなと驚いた訳でございますし、最初から最後までまさに感動の連続というような気持ちで運動会を見させていただきました。子どもたちの成長に村民の皆さんも嬉しい思いをしたのではないかと思います。教育委員会の先生方のご努力に感謝を申し上げる次第でございます。本日は貴重な時間にお願ひして私の方からお話をさせていただきました。本当に貴重な時間をありがとうございました。

## 二 教育長挨拶(飯森教育長)

私の方から開会のあいさつと合わせて一言お礼とご挨拶を申し上げさせていただきます。麻績村も少子化が顕著に進んでおります。しかしながら麻績村については高野村政における

子育て支援策、若者定住策が大きな要因になり少子化現象に歯止めがかかっている状況に深く感謝を申し上げる次第であります。さて、現在でも少しずつではありますが子どもさんが定着してきている部分、大人は元より子どもたちの世界でも情報化時代の進展が目まぐるしく変化しております。また、グローバル化への波も押し寄せてきております。子どもたちにはこれらへの対応がスムーズに出来るよう、時代を担う子どもたちに出来る限りの支援を行っていきたいと考えております。そして子どもたちだけではなく教育委員会としては地域住民が明るく、安心安全な生活が送れるよう社会教育の充実も図って参りたいと考えていますので、委員の皆さん、学校を始め関係各位におかれましても今まで同様にご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げましてごあいさつに代えさせていただきます。よろしく願いいたします。

### 三 教育長再任について

**白井次長:**教育長の再任につきましては先ほど村長からもお話がありましたが、本日10月1日より新たな任期ということで3年間の任期の始まりということになりましたのでご報告させていただきます。

(高野村長 退室)

### 四 報告(進行 白井教育次長)

**白井次長:**それでは、報告に移ります。教育長報告をお願いします。

#### 1. 教育長報告

**教育長:**お願いいたします(以下、資料に沿って説明)

**白井次長:**それでは、只今の教育長報告についてご意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、保育園長報告に移ります。

#### 2. 保育園長・学校長報告

##### 1)保育園長報告(白井園長先生)

**白井次長:**それでは、保育園長報告をお願いします。

**白井園長:**よろしく申し上げます(以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:**それでは、保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いいたします。

**塚原委員:**運動会お世話になりました。ありがとうございました。びっくりしたのは子どもの運動量のものすごく多かったなと思って、子どももよく頑張ってやっていけたということは子どもたちにあれだけの力があるということが分かりました。狭いグラウンドでよく子どもたちが動

けるようになったなと思いました。私が気になったのは前日に雨が降りましたが、日曜日にもしかしたら体育館でやるという風に聞いていたので、竹馬を子どもたちが固い床の体育館で出来るのか心配していたのですが、子どもたちは体育館のような固い床の所で体験しているのでしょうか。

**白井園長:** 運動自体は遊戯室でやっていますけれども、竹馬につきましては前々日に小学校の方に保育士と一緒に見させていただきまして竹馬は出来ないということになりましたが、竹馬をそこで止めてしまうのは子どもたちが可哀想だということで祖父母参観日に取り入れようということで計画をしました。

**塚原委員:** 2点目は保育園の無償化についてですが、給食費無償化の対象になる人がどのくらいいますか。

**白井園長:** 今回の無償化の中で一文ありまして、年収360万円以下の子どもは減免をすることになっています。そうすると約360万円ということでございますので所得割額で行きますと7万程で今のところピックアップすると8人います。

**塚原委員:** それは保護者の方で誰が対象になっているかということとは分からないのでしょうか。

**白井園長:** 誰かということとは分かりません。

**塚原委員:** 子どもが増えてくるとトラブルが出てくるかと心配だったので、およその人数が分かれば大丈夫です。

**白井園長:** 9月の実施行事の中の運動会ですが20日金曜日となっておりますが22日日曜日です。申し訳ありませんが訂正をお願いいたします。

**白井次長:** その他にいかがでしょうか。

**坂野委員:** 運動会はお世話になりました。昨年度までと運動会の進め方がかなり変わっていたんですが、あれは先生方で意見が上がってきたのでしょうか。

**白井園長:** そうですね。なるべく子ども中心ということでセレモニーにつきましては簡略化、競技の中では子どもの関わらない競技はなるべく省いて、体力的な面もありますので午前中に終わらせようということで話をしました。

**坂野委員:** すごいスムーズに進んでいて子どもたちもメインにして活躍をたくさん見られたので、子どもたちも満足しましたし保護者の方たちもとても見やすい良い運動会だったと思いました。

**白井次長:** その他にいかがでしょうか。

**市川職務代理:** いい運動会を見させていただいて心豊かに帰りました。近所の子どもを見ているんですが、保育園に上がってから飛躍的に成長したなと思います。対人関係にしても挨拶にしても自転車の乗り方にしても、人間関係がガラッと良くなるのは保育園で集団の中でそれなりのご指導をいただいているんだなと改めて思いをしまして、ありがたいことだなと感じました。運動会を見ながら集団として動くということを指導されている中で、周りが見えてくるというか今まで小さな家庭の中で、あるいは地域に出たとしてもお年寄りがいるだけの地域の中であまり広く視野が広がらないのが保育園の中でキチッと指導されて、しかも集団で動くということはどういうことか指導をいただく中で、子どもなりに視野が広がってきているんだなという感想を持ちました。だから近所のおじいさんに行き会ってもきちんとした挨拶ができるようになっていきます。本当にありがたいことだなと思います。もう一点は異

年齢集団で子どもたちが成長しているという話を今伺って大変ありがたいことだなと、保育園ならではの異年齢集団もいくつか出来るかと思うので、保育園の中での異年齢集団、あわせて今日のご発表の中でも色んな大人、お年寄りと色んな方々との異年齢集団での交流があるようですので、これからも大事にさせていただきながらその成果を教えていただけたらありがたいなと思いました。三点目は絵本の話を変えてさせていただきましたが、私の経験上からもあの時期の子どもたちに絵本の読み聞かせをするということは本当に心の開拓で大事なことだなと思います。人間としてのイロハを習うといいますか、よく昔話なんかはそうですが慎みといいたいでしょうか日本人の独特な文化だとは思いますが、そういうものを子どものうちに吸収して周りとうまに出来る子どもたちが育っているなという感じがしてこれもありがたいことだなと感じています。これからもよろしく願いいたします。

**白井次長:**その他によろしいでしょうか。それでは、学校長報告をお願いします。本日は傍聴者がいますので個人情報については省略して報告をお願いいたします。

## 2)学校長報告(福田校長先生)

**福田校長:**お願いいたします(資料に沿って説明)。

**白井次長:**只今の学校長報告につきまして、何かご意見等ございましたらお願いします。

**小山委員:**先程保育園の報告でもありましたけれども運動会本当に素晴らしかったと思います。特に今年は50周年という冠に合わせた企画をいろいろ先生方が発案いただいたかと思えますけれども、それを子どもたちが50周年ということ意識した運動会だったと思います。思い出に残る運動会であったと思います。今のお話にありましたゲームの時間、ノーテレビノーゲームデーという日も設けていただいて啓発に努めていただいていると思いますが、やはり大人でもそうですがゲームをやっているほうが楽しいということが偽らざるところだと思います。生活の規律といえますか、そういう所を小さいときから身に付けていかないといけないかなと思います。その辺の所が学力テストの所にも若干影響しているのかなとも思います。中学行ってからということでも、小学校のころから学習の習慣というのは必要だと思いますので引き続きご指導をお願いしたいと思います。

**白井次長:**その他にいかがでしょうか。

**坂野委員:**運動会お疲れ様でした。保護者から運動会について意見があったんですが、村の方たちにも見ていただけるように村民運動会と一緒にしたらどうかという声が聞こえてきました。今年も20日に村民運動会が出るので活躍する場面はあるのですが村民の方に見てもらえたらという声がありました。ノーテレビ・ノーゲームについては学校ではなく家庭に責任があると思うので、保護者の方たちがもっと真剣に考えなければいけないなと思います。生活リズムが乱れて学校に行けなくなるというのは本末転倒なので何とかしたいんですが、中学に入ると部活とか入って一所懸命やる対象が勉強以外にできるので、見ている子どもたちも少しずつゲームから離れていくんですが小学校の貴重な6年間の間に何とか出来ればなと思います。全国学力テストのことですけれども、校長先生がさっきおっしゃった報告する文章では8人ぐらい正答率があつてまあまあ出来るのかなと思いました。3番目の話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることが出来るかという所

が1人しか出来なかったというのを見た時に自分で考えて書く文章は出来るけれども、相手の意見を聞きながらその他で自分の意見を構築していくということが苦手、④経験が足りないのかなと思いました。思い出したのがどこの学校でもこういうことを問題視して先生方が一所懸命しているらしくて、佐久の方の小学校が机を移動できて子どもたちが立って勉強するというシステムを取り入れたら、グループを作ると言ったら机を移動して立ったまま話し合いをするそうです。そうすると眠気もあまり無いようですし、話し合いやすい雰囲気になると子どもたちの意見で出たそうです。子どもたちの椅子に座っている時間の方が長すぎるということで立つことで体力もつくのではないかということも言われていたので、なにか状況を変えたりして子どもたちに刺激を与えてやってみるのも良いのかなと思いました。日本は海外に比べてディスカッションの時間が少ないということも毎回言われていますが、そういう時間もたくさん持てれば話し手の考えを受け入れながら話をまとめていくということが少しずつ身につくのではないかと思います。

**白井次長:**その他にいかがでしょうか。

**市川職務代理:**運動会本当にありがとうございました。学力の関係で校長先生がおっしゃられた、やるべきことはすべて尽くしているはずであるがという所には私は全く同感です。先生方本当にやるべきことはやっていただいている、にも拘らずというところが私も非常に気になります。第一はこういうことを教育委員会の中でしっかり情報公開していただいているということが非常に大事なことだと思いました。今保護者を代表している委員さんから詳しい感想を聞かせていただいて、保護者代表としての受け止め方がある、なるほどなどという感じでありますので、出来ればしかるべきグループの中など出すべきところには出していただければと思います。二点目はまたゆっくりスクランブル思考をしてみたいと思いますが、学校でもやっていると思いますがそういう時に先生にとってはこの子は誰でこの子は誰と小規模校ですので少なくとも担任の先生は子どもが一人一人見えていると思います。だけれどもその時にこの子がなぜ躓いているかという所にどうしても目がいってしまうと思います。だからその時に躓きを無くすためにももう少しこういった援助をしなくていけないといった発想でそれはそれで良いんですが、私も時々はやっていましたが軽んじていたのが、学校で子どもがみんな見えるのでスムーズにクリアしていく子をスクランブルしていただいて、こっちの方の生活態度の方とスクランブルした時に、この子はこういう所がこうだから学力もこうなんだなどその子が教えてくれるところがあると思います。これは小規模校だからこそできるんですが、改善に繋がるかなという感想を持ちました。

**白井次長:**その他にございますか。

**塚原委員:**運動会ありがとうございました。あの席だと保護者の席が狭いような気がしてもうちょっと広いところとか周りに散らばすような会場設定にしたらにぎやかになるのかなと思いました。学力テストのことですが子どもの質と先生方の力量と、親もある程度関係してくると思いますので、今度の土曜日の時にも校長先生の方から保護者にお話はされると思いますが、本当にプロの先生たちがやってもここまでいかないというプロとしても悩んでいるので親も分かって欲しいという思いがあると思うので、親にも正直にこういう実態なんだということを知ってもらうことが大事だと思います。前から不思議に思っているのが図書館で子どもたちがあれだけ本を借りて読み込んでいるのに何故読み解く力がつかないの

か不思議に思っています。例えば読み込んで感想文を発表する機会を増やして、この本をこういう風に取り取ってこういう風にアピールをしているという子どもにチャレンジしても良いのかなと思います。多分学校でもやっているんだろうけれども、良い図書館に行ったらたくさん本を読んでいるんだけど力が付かないのは何故かという思いは先生方と同じだと思いますが工夫していかないといけないのかなと思います。

**白井次長:**その他にございますか。

**教育長:**子どもたちはこの学力テストの重要性というのはどの程度認識していますか。

**福田校長:**事前に担任からというところで、競争云々ということではないんですけど最後までということ、無回答が出てしまったという話がありますが無回答はなるべく内容にということとは事前指導の中でやっています。このことが全部の子ではないんですけど公開になって色々な話題になっているということを感じている子どもはいますので重要性というのは分かりませんが、こちらからはとにかく全力を尽くしてやるものということで伝えていきます。ただ、受け止めという部分は個人差がかなりあるかなという所はなかなか拭えないところがあります。

**教育長:**日常の生活や家庭生活に関する部分は正直だなということが見て取れるんですが、テストの中身については学校の先生も把握するのは大変かなと思います。テストに対する認識というかテスト慣れじゃないですけど、そんな所も見えるのかなと思います。テストの重要性というものを小学生なので難しいとは思いますが、そこでだいぶ違う所かなと感じています。

**白井次長:**その他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、協議に移ります。

## 五 協議事項(進行 飯森教育長)

### 1. 令和元年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

**教育長:**それでは、令和元年度全国学力・学習状況調査結果の公表について事務局より説明をお願いします。

**白井次長:**お願いします。毎年この学力学習状況調査の結果につきましては広報で1ページ使いまして、小学校と中学校というような形で細かい数字ではなく傾向という部分でまとめて出させていただいております。今年も同じような形でやっていこうと思っておりますが、掲載前に定例の委員会の方に諮っていきたく思いますのでよろしくをお願いします。

**教育長:**毎年のごとく公表をしていくということでございますが、先程資料をお渡ししましたので昨年度と公表の方法は同じような形で行きますのでその中で特記した方がよいことがあれば、次回の定例会までに目を通していただいでご意見をよろしくをお願いいたします。

### 2. 中学校の統合に関わる村民の意識調査について(議員発議)

**教育長:**それでは、中学校の統合に関わる村民の意識調査についての説明をお願いします。

**白井次長:**お願いします(資料に沿って説明)。

**教育長**：この件につきまして、何かご意見等ございましたらお願いします。

**塚原委員**：村民意識の把握のため意識調査の実施を求めるといのは、アンケートでやりなさいということでは決まっていますか。意識調査といってもやり方は区長さんを集めたりだとか、地区懇談会みたいな形で行うなど色々あると思います。

**教育長**：調査対象は麻績村と筑北村の全世帯ということですので集めて聞いたということではダメだと思います。筑北村の状況について説明をお願いします。

**白井次長**：筑北村にも議会最終日に同じような発議がなされました。そこでは発議をなされて議会の委員会の中で色々な意見が出たというようなことでありました。筑北村については意見の採決をとるということではなく、議長の方で社会文教委員会の方に付託されてということでの継続審議という扱いになっています。

**教育長**：筑北村では議員発議に対して議会で結論を出していないということで、やるということになるかやらないということになるかは今のところ未定ということです。特に中学校においては、部活動に取り組みたい種目が無いため断念したりと部活のためにやれというようなニュアンスに取っている部分があるということで筑北村の議会では議論しているようです。

**坂野委員**：今の部活動のことですが、先日の文化祭を見てもクラスマッチにならなくて委員会ごとの種目でそれなりにはやっていますが、一緒になればいいなという声は親御さんから出ていて、寂しいなという声もあって委員会は委員会で縦のつながりで良いんですけども学年ごとの団結も見たいねという声もありました。このアンケートは麻績村と筑北村で同じ歩調でやっていくということですか。筑北村ではやるけど麻績村ではやらないということもありますか。

**教育長**：実際にはこれは両村でやらないと価値はないと思いますので足並みは揃えていきたいと思っています。

**小山委員**：相談はしていくんですか。

**教育長**：相談はしないです。相談すべきことではないですし、協議の中できめていくことだと思います。

**市川職務代理**：先程の村長さんの個人的な見解の中では、子どもたちは今非常に大事な時期で特に中学生は大事な時期に差し掛かっている中であまり波風を立たせるようなことは避けたいという考えは分かりますし私もまったく賛成で、慌ててやる必要がないという意味があったのかなと伺っていたのですが、議会を代表される議長さんが議長職名で村長や教育長あてに文書を出されたということは、この内容について村長さんや教育長さんは全面的に実行しなければいけないのか、拒否できる立場があるのか、大事な問題なのでこれから一緒に考えてやっていきたいと思いますという立場がとれるのか、法的にはどうなのでしょう。

**教育長**：法的にはやる、やらないは受けたところの協議の中で決定していいと思います。

**市川職務代理**：議会としてはあくまで要望であって村長や教育長の職権を規制するものではなく、村長や教育長の職権の中で判断をしていくということではよろしいでしょうか。

**教育長**：村長はそれで良いと思いますが、教育委員会は教育長に来れば教育委員会に諮らなければいけません。



**市川職務代理:** 新聞記事ではこの事が議会に出た時に教育長さんは教育委員会に諮って結論を出しますという風にお話されたと読ませていただきました。教育委員会に諮ってということは教育委員会のそれぞれの人の意見を聞いて最終的には教育長が判断するということでしょうか。極論を言えば全員がやめろと言ったけれども一応意見を聞いたけど俺はやるという形で行くのか、皆さんの意見を聞いて大方こういう方向だからそれでいくという風に決まっていくのか、その辺は法的にはどうなんでしょうか。

**教 育 長:** 法的にはやる、やらないは受け取った部分で判断すればいいと思います。議員発議でするので議員がやるけど他の形で言えば要請とか陳情とかいろいろな部分と結果的には同じだと思います。実際には皆さんのご意見の中で全員がやる必要はないと言えば逆にやること自体がおかしいことになりますので、しっかり協議をして皆さんのご意見を統一する中でやっていきたいと思いますが、最終的には皆さんの同意や反対をとってやっていきたいと思います。もう一つ大事なことは麻績村にも来ていますので、麻績村がやらないって言うことを教育委員会でやる訳にはいきませんので、そのところをご承知願いたいと思います。

**市川職務代理:** 教育委員全員がやろうと手を挙げて教育長が意見を重んじていただいて教育委員会ではやりましょうとなっても、村としてはやらないという風になった時には出来ないということではよろしいでしょうか。そうすると軽々に自分の意見を言えないような気がします。

**塚原委員:** 僕も同じように非常に難しい問題で、村同士が合併しない、中学校については単独でやっていくという議会では急に一緒に事を検討してくれと言われてしまうと教育委員会の委員としても複雑になってしまっているのではやたらなことは言えないというのが今日ここに座っている僕の意見です。実際子どものことを考えたら何としても一つの中学校なり小学校も保育園も皆子どものことを考えたら両方でもって進めていく方が良いと感じてしまうけれど、政治家の動きというのはまた別の動きがあるような気がして、本当に子どものことを考えれば何とかしてあげたいなと僕は思います。部活のためじゃなくて筑北の谷の中の子どもの教育の仕方について麻績村にしても筑北村にしても少しは歩み寄って話し合いをしながら進めていかないと、大人の我々でも筑北村の人と付き合うのが難しくなってくるんじゃないかと思っています。非常に発言しにくいですし、アンケートを取れということで議会の方で決めるということもすごいことだなと思っています。アンケートを作っただけでいいと教育委員会で承認して実行する等の手順の部分で不安があります。

**市川職務代理:** 関連して要望をします。村民の皆さんと意見交換をし合うというか、村民の皆さんのお考えを教育委員としても個人としてもとても聞きたいし、聞く機会をどんどん設けていくべきだと思っています。その方法はアンケートだろうが何だろうが構いませんが出来るだけ多く、気軽に意見を言い合える雰囲気を作っていく必要があるかと思っています。今の雰囲気では、こういうことを言うとかある人たちにこういう目で見られるとか、新聞にはこういうことを書かれるから控えたいとか、このような雰囲気では本音が聞けないと思います。この間まったく個人的に保護者の皆さんたちと話す機会がありましたが、本当に率直なプラスになるようなご意見をいただいて反映できるものは反映していこうと感じました。そういう風に小集団でもいいから色々な人たちと話ができるようなことを、特に学校問題については一部の人たちで決めるのではなくてそうしていただきたいと思っています。そのためには事務局

の方でもそこまで神経を使わなくてある程度までの情報はどんどん開示していただいて、私どももそれに基づいて親とこの範囲で話すことはいいなという風に、もっと教育委員1人1人を信用していただいてある程度までの情報はどんどん出していただいて、そういうもので相手の顔を見ながら話していかないと、どうなるでしょうねという返事だけでは保護者も話をしても意味のないことです。出来るだけ多くの懇談会を持てるような雰囲気を持って行ってもらいたいということと情報をどんどん公開していただかないと、先日の部会があったときに PTA の代表の人たちが情報不足だとかなりエキサイトした場面があったんですけども気持ちが分かるような気がしました。これだけ出しているのにという思いがありますが、まだまだ積極的に色々な情報を公開しながら一緒に相談に乗ってもらおうというような気持で話していくことが大事だなと思います。塚原委員さんからアンケートの中身についてお話がありました。これはとても大事で、学校統合について過去の例を見ると、自分の地域の学校に対する住民の愛着が強く、この気持ちに配慮しながら進めるにはかなりの時間が必要と思われる。

**坂野委員:** 小中学校の将来の在り方についての議論をと書かれています。保護者の方たちも自分たちの子どものことだから自分たちで決めていきたいという気持ちが強くて、でもその通りだと思いますし語りたいし、アイデアもたくさん持っている。そういう場が欲しいんじゃないかなと思います。大勢だと話しにくい人も少数だと、この間お母さんたち集まってみたんですけども皆さんいろんなアイデアもあって意見も堂々と言っている。そういう場は必要んじゃないかなと思います。多分皆さんこうじゃないかという想像で話をするよりも、皆さん1人1人がどういう意見を持っているかというのもそろそろやってもいいんじゃないかなと思います。

**小山委員:** 坂野委員がおっしゃられた通り、具体的なことを議会からの要請があるからやるということも手だと思います。その後の流れまで教育委員会で心配する必要があるかということもあります。市川委員がおっしゃったようにそうなった時に次の展開をどうするかある程度のシミュレーションをしてからやらないと、賛成ですか、反対ですか、場所はどこがいいですかという風に物理的だけでやってしまうと後で非常に泥沼にいつてしまうような気がします。先日の市川委員が中学校でお話いただいた資料も拝見させていただきました。振り返ってみれば今から十数年前に麻績でも筑北でも統合をどうするかという会に委嘱されたりして、そこから返答してそれを受けた議会なり理事者側が今の状態になっているということを考えれば、軽々にアンケートという形が良いのかなという気がします。坂野委員がおっしゃる保護者の皆さんのお気持ちは分かります。来年の4月に向けて両村でいろいろな動きがある中で果たしてやるのがいいのかなと思います。

**塚原委員:** アンケートを取るまでに教育委員会として村民の意見を聞いたり懇談をしたりという努力は必要だと思います。こういう風に議会では決議しているんだけど皆さんはどうですかとか、PTA の皆さんに意見を聞くとか有志の会の皆さんの意見を聞くとか教育委員会としていろいろ情報を持っておいて、皆さんアンケートをしますが良いですかという風にやらないと、アンケートの結果がどういう風に出るかわからないという不安のまま教育委員会でアンケートを取るのではなくて、ある程度村民の皆さんの話を聞いたりしてアンケートを取ったほうが良いと思います。場合によっては教育委員会主催の懇談会だったり、将

来の子どもの在り方について皆さんどう思いますかと聞いてもいいと思います。

**教育長:** 懇談会は出来るだけ多くやったほうが良いんですが、実際に前回やってみて都合が悪かった人もいたと思います。あれだけの都合が悪い人が出るということはあまり考えられないと思います。少人数ならある程度いけるということになれば、言い換えれば教育委員会で集めて開催するのではなくてサークルとかちょっとした話し合いの場を設けて行ってもらうような機会を捉えないと多分懇談会やってもどうなんだろうと思います。なんで心配かという村長の地域懇談会もやっているんですが60%以上出席するような地区は珍しいぐらいだと思います。もし出るとしても何か集会と一緒にしてもらわないといけないですし集会と一緒にしても全員は難しいという部分もありますので、教育委員会で開催するというのではなくて何か方法を考えないと懇談会やっても教育委員会の回答を求めるとい方は難しいと思います。村民の皆さんが考えていることを聞きたいという部分にしていけないと厳しいのかなという気がします。アンケートも実際にやってみて回収率がどのくらいになるか分からないんですが、小学校とPTAを通してやった子育て支援計画のアンケートも回収率は60%ぐらいでした。実際には教育委員会でもですが麻績村がどうするか、筑北村さんがどうするかをしっかりと見極めていかないといけません。筑北村さんは12月頃までは議会がないので結論が出ないけれど、それまでにやるとなれば麻績村としてもすぐやっていかないと不味いのかなと思います。基本的にはやったから後は村長がどういう判断をするかということに掛かってくるかだと思います。教育委員会はやってもやらなくてもすぐ取れる対応をとってやっていくべきだという風に考えていますので、ぜひそういうことをご理解をいただいて皆さんがおっしゃったことをまとめてどういう風にアンケートを取っていくかしっかりと協議をしていかないと難しいと思います。さっき市川委員がおっしゃったように統合はどうするということでやればその時は賛成だとしても後になってみればということもありますので、前の統合問題もそこがネックだったのかなと感じています。実際には私も村長もそうですが筑北地域はいずれは1つでやっていかないといけないということで決して皆反対ではないと思います。そこら辺を踏まえてしっかりと詰めていかないといけないのかなと思いますので、アンケートを取ったほうが良いのか教育委員会で結論を出す部分もありますけれども、皆さんの意見を聞くとアンケートも取ったほうが良いし色々な識者から話を聞いたほうが良いというご意見ですがよろしいでしょうか。

**市川職務代理:** アンケートを取るということは私も賛成です。先ほど坂野委員がおっしゃられたように出来るだけ保護者の皆さんの意見を聞くというチャンスを教育委員会主催という形でなくとも保護者の方から自発的に数人のグループで集会を取ってもらえるとありがたいと思います。アンケートを取ることに反対はしませんが、5月末なら5月末で結構けれどもやる時期はどうか、筑北村が現在の村長さんを中心としてまず村としてまとまろうとして一所懸命やっている時にそれをしばし待ちましようということで今私どもは最終的には一緒になろう、今は時期ではないから今やるべきことをやってみよう、もうしばらく先に統合しましようという気持ちでやっている訳でありますから、その辺も村の人たちには正しくご理解をいただいた上で進めていく必要があるかだと思います。

**小山委員:** アンケートについては平成16年くらいからの両村でどういう形で動いたかという客観的

事実を示したほうが良いと思います。主観的にうちの方は学校が無くなるからということは抜きにして、麻績村では教育問題を考える会という所に委嘱をして議会に答申をあげたりしたという流れは筑北村は筑北村でやっていますし、それがどうして賛成的だったのがどうして統合にならなかったのかという客観的事実は示した方がよいと思います。

**坂野委員:** 正しく村民の皆さんに伝えることがとても重要だと思ひまして、先ほど村長さんはアンケートをやらない方向でということでおっしゃっていましたが、やらないならやらない理由を9割方皆さん統合でという風に受け取っていると言ってもらえれば保護者の人は安心すると思ひます。アンケートを取りませんただと何でということでは不安も生じますし、今現在小学校高学年、中学校の保護者はゆくゆくはと言われてしまうと今は出来ないんだね、部活もこの人数なんだねという話になってしまうので正しく伝わっていないと思ひます。向こうは独自でやっていく方向なのでと説明をしてもなんでという疑問ばかりいただいているので、村として言っていると思ひますが保護者達は不安というか何時なんだろうという不安が拭えないと思ひます。

**教育長:** こっちも一所懸命話をしているんだけど理解してもらえないのでどういう風に理解をしてもらおうかというところが大変だと思ひます。アンケートをとって統合に賛成だよということで、こういう準備が必要で統合するのは5年後10年後ですよ、納得していただけますかと言うと納得しないということになってしまうと思ひます。統合してやった時には聖南中学と筑北中学どちらを使っても良いんですがいろいろな部分で設備が整っているかといえは簡単にはいけませんので、今統合して来年4月からやるということは不可能に近い部分です。その間に県教委が入ってきて学校の手続きだったりも時間がかかる場所です。その間に最低でも2年くらい前には言ってやらないと間に合わないと思ひます。もし反対にさっきの客観的な事実を出したときに今更統合ってなんだと5割くらい出てきた時にどうするかという問題もあります。さっき村長が言ったことはいずれは一緒になるということは決まっているけれど時期が明言できないという所で、なぜ時期が明言出来ないかという今筑北村は独自で進んでいる所にそれを持ち掛けることは出来ないし、独自に進むというところをかき回す訳にはいけませんという考えがあると思ひます。そこら辺の所がご理解いただければ良いけれど難しい部分があります。実際にはアンケートは取ったほうが良いと皆さん思っていると思ひます。それに対して客観的な事実も必要ですし、すぐには出来ないですよという意思をどうやって伝えるかということも一つの中に入れていかなければいけない難しい部分だと思ひます。先程市川先生がおっしゃったように話をしたいから教育長出てきてよと言われて出ていくことは良いんですけれども、結局私が出ていくこのことについてどうですかと回答を求められて今のような回答をするとなんでとなって余計に訳が分からなくなってしまうので、自分たちの仲間で話し合っていることをまとめて伝えてもらえればありがたいですし、教育委員が間に入っていて意見を集約をしたりしてくれば、ただし教育委員会個々では教育長もそうですが決断することは出来ませんので、そういう部分で話をしていただければ結構いい情報が揃うのではないかと思ひます。

**市川職務代理:** 教育長さんが出て行って保護者の方の意見を聞くだけでもいいと思ひます。それだけでも保護者の皆さんは満足していただけたらと思ひます。

**教 育 長:**話し合いというか意見を伝えたいという部分は非常にありがたいと思いますのでぜひお願いしたいと思います。

**塚原委員:**これを決議した議員さんたちは教育委員会が検討委員会を3本立ち上げて、こんな方向で麻績村の教育を進めていけばいいだろうと検討し始めて2年ぐらいになりますが、そういうことを議員さん達は分かっているのかと思います。この決議に至ってしまった議員さんは今までの検討委員会のことを踏まえて麻績村の将来のことを考えてこういう風に動こうとしていることを承認しながら、もう少し違うことをして欲しいという意味なのか、教育委員会の動きも分かってほしいと思いますし、検討委員会に傍聴に来てもらったり意見を聞きに来てくれてもいいんじゃないかなと思います。

**市川職務代理:**逆に議会議長あてに質問書という形で出してもいいんじゃないでしょうか。

**塚原委員:**そのくらいに思います。私たちが2年間頑張ってきたことが何だったんだということにもなりますし、もし違った方向に動けば一貫教育とは何だったんだということにもなってそれも変じゃないかと思います。

**市川職務代理:**教育委員会だけでは無いですからね。教育委員会も PTA も皆巻き込んで2年間積み上げてきたことに対して議会議員としてどうお考えですかと逆質問状を出してもいいと思います。

**教 育 長:**もしそういう形になれば教育委員会として議会議員との懇談会を開くなど趣旨をしっかりとやっていけば可能だと思います。そうすれば議員さんの考えていることも分かると思います。この村民に意識調査につきましては足並みを揃えることも大事ですので、村の意向がしっかり決まることと筑北村の意向がどうなるかということを見ながら進めていきたいと思いますが、この結果公表の期限が来年の5月末ということでございますので筑北村の議会は12月に結論が出るとお思いますのでアンケート調査するにしても配って1か月で回収しても揃ってくるのではないかと思いますので、そんな状況で進んでいきたいと思いますがよろしいでしょうか。よろしく願いいたします。その他にありますか。

**白井次長:**前に意見交換という形で要望を受けていましたが、新たに9月25日付で再度意見交換についてのご回答をということまでいただいておりますので、先ほども意見交換について今後どういう風に進んでいくかご返事いただければありがたいなと思います。

**教 育 長:**懇談会はやるほうが良いということで進んでいますので実際には方法をどのようにするかということになると思います。いけなければ教育委員の皆さんが時間を取れる限り、3日か4日に分ける方法もいいのかと思います。

**市川職務代理:**我々の負担も大きくなるけれど、この日の担当は誰と誰をということにしてもいいと思います。

**小山委員:**去年もそうでしたが、この日だと指定しても都合が悪い人も相当いますし、平日がいいのか休日がいいのかという話も出て来るとお思います。

**市川職務代理:**ただ、しっかり懇談会であってほしいという点だけはキチンとしておいていただかないと、どんなに無理をして時間を作っていっても一方的な演説を聞かされるだけならやらない方が良くと思います。

**教 育 長:**他所の村のことをいろいろ言うてはいけませんけれど、前回筑北村でやった時の情報も聞いていますけれども大変だったようです。11時半頃まで掛かって同じことの繰り返

しでよく分からなかったという話をしていますけれども、これから2回目とか3回目を開くという形になっているようですのでそこでいろいろ出てくるかと思いますがよろしくお願ひいたします。皆さんにご負担が掛かる部分もあるかもしれませんが、麻績と日向と分けるなどして進めていきたいと思ひますのでお願ひいたします。それでは次に進みます。

### 3. その他

#### 1) 各委員から

**教育長:** それでは、各委員からございましたらお願ひいたします。

**塚原委員:** 公民館で10月10日からコミュニケーションという講座を5回くらい開きます。親子の関わり方とか子育てについての講座を公民館の方でやるようですが、ぜひ教育委員の皆さんも知っていただきたいと思ひます。大々的に講座をやりたいようですので委員の皆さんも目を通していただければと思ひます。

**教育長:** 親と子のコミュニケーション作りのための講座です。子どもに対してアレをやっちゃいけないと言うだけでなく、よく怒ってばかりいるということの無いように親に勉強をしてもらうもので去年の人権研修会で来ていただいた先生にお願ひします。

**白井次長:** 担当も本当は保護者の方に聞いていただきたいという意識はあったんですが、ふたを開けてみたら2、3人だったということで非常に残念がってましたので今回の部分につながっていると思ひます。

**教育長:** その他にありますか。

**小山委員:** 校長先生に確認ですが、10月3日の小学校の全校研究授業は教育委員は出た方がよろしいでしょうか。

**福田校長:** ご都合許せばという所で3日は4年生の国語の授業になりますので、さっきの国語の力がどうなのかという所をご覧いただければと思ひますがご無理のないようにお願ひしたいと思ひます。11月には伏木先生がということでお声を掛けさせていただきますので、地域学習とか小中連携に関わってということはそちらの方が強いですのでご都合がつけばということでお願ひしたいと思ひます。

**教育長:** その他にありますか。

**市川職務代理:** 毎月行われるようになりました、歴史を知ろうという会ですが前回は高地区をまわって非常に好評でこの中でもご協力をいただいた方もいますが、次回10月は19日の予定になっています。今回は明治町、本町、中町であります。よろしくお含みの上ご参加できる方はご参加いただければと思ひます。

**坂野委員:** 本日で私は最後になりますが先生方にもたくさんお世話になりました。いろいろご指導ありがとうございました。たくさん勉強させていただく機会を与えていただき良い経験となりました。今日は保護者代表としてここにいさせていただいたので、今まで控えていた部分とかかなり強く言ってしまったので失礼いたしました。ただこれで保護者の方が言いたいことは伝えることが出来たのかなと思ひます。役を離れても私のできる範囲でご協力をさ

せていただければと思います。ありがとうございました。

**教 育 長:**その他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、事務局からに移ります。

## 2) 事務局から

- ・第2回授業づくり研修会の開催について(10月8日 筑北中学校)
- ・長野県市町村教育委員会研修総会(10月11日 飯田市)
- ・学力向上に係る県教委との懇談について(10月31日午前9時)

**白井次長:**お願いします(資料に沿って説明)。続きまして長野県市町村教育委員会研修総会ということで10月11日飯田市の方で行われます。受付が9時半からとなっていますので8時に交流センター前にお集まりいただきますようお願いいたします。最後ですが、学力向上に係る県教委との懇談会についてということですが10月31日午前9時からという決定しましたのでご連絡いたします。よろしく願いいたします。

**市川職務代理:**県教委との懇談会は教育委員全員参加ですか。去年は会合があつて途中で席を外しましたがどうでしょうか。

**教 育 長:**また内容を確認して調整してからご連絡をさせていただきます。学校には県教委の方が回りますので学校は大丈夫だと思います。事務局からは以上ですが、その他によろしいでしょうか。それでは、次回の日程に進みます。

定例教育委員会の日程 11月5日(火) 午後1時30分～

**教 育 長:**全体を通して、皆さんの方からありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございました。次回11月5日には新しい保護者代表の教育委員さんが出てくる予定になっています。お名前は宮下温子さんです。それでは、閉会に移ります。

## 五 閉会(飯森教育長)

長時間にわたりありがとうございました。以上で10月の定例麻績村教育委員会を閉会いたします。

※網掛けになっている部分は個人情報になりますので一般公開する時には伏せて公開いたします。

上記会議録に署名する

教育長

職務代理

委員

委員

委員

会議録調整者